



表紙
小林英樹
《PAINTED SKY》

表紙絵解説

版画用紙に合成樹脂絵の具で描いたものです。縦横16に分割した矩形に16様の空を描き、その空を灰色でつぶし、最後に刷毛のタッチを生かした白で最初の空、つぶした灰色を消していってしまい。

最初、空模様を描いたのは、気持ちや気分など感覚的な時間を生きている自分を表現しました。黒に近い灰色で、それを消しましたが、単なる否定。それじゃつまらないと白によるアクション。何の解決も出現しなかったけど、そのまま終わり。あえて言えば、感覚的な時間に流される自分を打ち消し、確固とした新たなものに挑戦していこうという意思表示は込められています。

なお、タイトル《PAINTED SKY》には二つの意味が込められています。最初に「描かれた空」、それを塗りつぶす行為の「絵の具で塗られた空」です。ワンセットで完結です。2006年制作、B全大、バンコク、シルパコーン大学との交流展に出品しました。

小林英樹